

令和6年12月大竹市議会定例会(第5回)

一般質問通告表

1.

4番 山代 英資 議員

質問形式 一問一答

クーリングシェルダーの取り組みについて

クーリングシェルダーに関しては、本市としても初の試みだったと思うのですが、やってみた手ごたえを教えてくださいませんか。

また、本庁舎（10人程度）、総合市民会館、総合体育館（合わせて10人程度）、図書館（若干名、空席状況による）、アゼリアおおたけ（10人程度）、サントピア大竹（10人程度）、晴海臨海公園管理棟（5人程度）と約45名程度の利用が可能でしたが、席数または施設を増やすお考えがありますでしょうか。

管理上の課題から当面は公共施設でとのことでしたが、来年度以降、民間事業者との協力体制はいかがお考えでしょうか。

本市のお考えをお尋ねいたします。

本市の介護施設の状況について

今年の9月、12月、来年の3月と大竹市内の介護施設の閉鎖や事業の撤退の話が出ております。

要因の1つとして職員の不足（主に送迎）があると聞いておりますが、これは、特定の事業所だけでなく、すべての事業所の課題ではないかと思えます。

今後、市内の同様の施設でも同じような現象が起こりうる可能性があるのではないのでしょうか。

新たな人材の確保は喫緊の課題であると思われます。

ヘルパーの資格を持ってはいるが介護経験のないペーパー介護士や、ブランクのある介護士の復職のための研修等も有効かもしれません。

市の福祉事業を継続されるうえでも、介護人材の確保等の今後の取り組み内容について、お考えをいま一度お尋ねいたします。

2.

2番 中野 友博 議員

質問形式 一問一答

大竹市観光振興計画を策定しませんか

2023年3月、建築家・坂茂氏が設計された下瀬美術館が開業されました。海外での建築作品も評価が高く、国内外からの観光客も多く、2023年度は美術館の来館者は80,665人、Shimose Art Garden Villaの利用者は892名が訪れました。また、2024年6月に国連教育科学文化機関（ユネスコ）本部で創設されたベルサイユ賞の「世界で最も美しい美術館」として下瀬美術館が選出され、今後多くの方が訪れることが予想されます。また、同時期に民間のビジネスホテルも開業し、観光の拠点が出来たことで、市内各所でもSNSでの発信を活用し、本市に訪れる方を増やそうと民間での取り組みも活発になってきています。そして、これから数年後には、道の駅開業が計画され、本市の景色も変わってくることでしょう。

しかし、本市には観光の方向性を示す計画・資料が現時点ではありません。人口が減少し

ていく中で、これまで以上に関係人口増加に向けた取り組みが必要になります。そこで本市の観光に対する現時点での考え・課題について問います。

防災リーダーの役割・課題について問う

時代が求める防災のあり方も「住民の命は行政が守る」から、自助・共助・公助の防災の三助へと移り変わっています。

その中でも本市では自助・共助の要となる防災リーダー育成に取り組んでいます。まずは防災リーダーとは何か。そして、本市が期待する地区での役割について問います。

この度私自身も研修を受講し、現在の防災の考え方、AEDや胸骨圧迫の方法など実践的な学びもある大変有意義な取り組みをしていると実感しました。その後、各地区の防災リーダーと意見を交わす中で、これからの課題が浮き彫りになりました。研修受講後、各地区でどう情報を拡散するか、市民が当事者意識を持ってもらうためにどのように巻き込むか、防災リーダーの存在をどう認知してもらうかなど、インプットした情報をどうアウトプットするかという点です。そこで、上記課題を解決するための取り組みとして今後どのような取り組みを強化していくかを問い、行政主導の避難訓練について提案させていただきます。

3.

11番 西村 一啓 議員

質問形式 一問一答

本市の道路について現状への対応や、今後中長期の計画等について伺います

最近市内の市道が至るところで荒れているが、これらの補修や改善される予定、あるいは市民からの指摘に対する計画がなされているのか。また、交通安全の面からの対策や計画はいつまでにされるのか、予算面から難しいのか伺う。

また、市内歴史的遺産である西国街道の整備も計画に入っているのか、いつまでに取り組むのか、あわせてお尋ねいたします。

4.

6番 小出 哲義 議員

質問方式 一問一答

大竹市の定住促進について新たな観点からの提案と質問

大竹市の人口減少の抑制に向けての提案と質問をこれまでとは違う「ワークライフバランスの観点」で行いたい。

定住促進のための施策としてさまざまな支援が行われ、その成果も徐々に現われてきているように感じている。

2000年以降に成人を迎えた、いわゆるミレニアル世代、そして、定年を迎えた60代以降のシルバー世代がワークライフバランスを重視した従来とは違った動機で移住を決定している。ここにポイントを置き、これに対応した定住促進の施策を提案したい。

本市が、この現象をどのように捉えているか。また、これに対応した施策を計画することが可能か問いたい。

5.

5 番 岡 和明 議員

質問形式 一問一答

本市の今後の文化政策を尋ねます

本市はこれまで文化政策が極めて手薄でした。市の代表的な文化遺産である亀居城は木で覆われ雑草にまみれて夏場は踏み込むこともできず、昼間からイノシシが出たり、マムシが出たりして、市民すら遠のいています。城や西国街道とのつながりで文化価値の高かった小方旧市街も消滅しようとしています。

政府発表によると、今年1月～9月の訪日外国人客は約2,700万人、その消費額は6兆円近くに上りました。国内観光客はその数倍の規模です。

国は観光立国推進基本法を定めて、「地域の住民が誇りと愛着を持つことのできる活力に満ちた地域社会の持続可能な発展を通じて国内外からの観光旅行を促進すること」を目指しています。その基盤となるのが地域の文化や自然であり、これらは昨今シビックプライドという用語で改めて強調される地域社会の心の拠り所にもなるものですが、本市の実情は冒頭の通りで、国の政策に何らの貢献もなく、市民は年8兆円に上るこの大きな経済分野の恩恵に全くあずかれないままです。本市は今後どのような文化政策を構想されているか問います。

6.

13 番 日域 究 議員

質問方式 一問一答

不登校児童生徒の急増について

文科省の統計によれば不登校の児童生徒が急増しています。県下や大竹市においても同様でしょうか。ここまで増える原因はどこにあると考えますか。学校の不手際もあるとは思いますが、それだけのことでこんなに急に増えるとは思えません。学校以外の要因、家庭のありよう等と関係の有無について、教育長の思いを尋ねます。

103万円の壁で複数の知事が懸念を表明、大竹市長も負けずに意見表明をお願いします

年末の忙しい時期に103万円の壁が、多くの労働力を奪っていく。これは由々しき状況です。時給を上げれば余計に人手不足になる。国の制度がこんな状況を生んでいるなら即刻対応すべきです。出来れば、税を大きく下げることなく、壁をフラットにするべきです。また、これを機に、不自然なルールの一掃を。一例は公務員の雇用保険不加入のこと。市長の考えを尋ねます。

7.

10 番 小田上 尚典 議員

質問形式 一問一答

GIGAスクール構想実現に向けた取り組み、タブレットの活用、更新について

令和2年度から令和3年度に「1人1台端末」と高速通信ネットワークが整備され、タブレットを活用した学習もさまざま行われています。これまでの取り組みでの課題等の蓄積、対応などどのようにされていますか。

また、5年リースの更新時期も迫っていることから、これまでの取り組みや小中学校での異なる活用方法を加味した機種を選定をされますか。

I C T支援員の支援により期待する効果はでていますか

現在、本市においてはI C T支援員を設置し4年が経過しています。学校現場からの要望はどんなものがあり、現場の希望に添える支援になっていますか。

支援員と継続してI C T活用をステップアップさせていくために複数年の契約が必要だと考えます。

支援員は市の限りある財源からの配置ですが、地方財政措置の有無も伺います。

8.

3番 豊川 和也 議員

質問形式 一問一答

カプセルトイの活用について

地元ガチャ、街ガチャ等、カプセルトイを活用して地域の魅力を発信する市町村が増えています。大竹市も夜景の写真キーホルダーやコイちゃんキーホルダーなどを街ガチャにして市役所に設置を提案。

来年度の指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の設置予定について

今年度も酷暑でした。指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）が指定されました。

そこで、

①今年度クーリングシェルターの利用者を教えてください。

②来年度クーリングシェルターの民間との協定や施設を増やすなどの対策は行いますか。